天童市 縁あってコラボ 若松寺

恋も誘客も実らせたい♡

あす第1回良縁祈願祭

縁結びの「パワースポット」として有名な天童市の若松寺で5月、良縁を望む男女が集まって祈願をする「縁むすび祈願祭」が始まる。天童市観光情報センターが寺に働き掛けて実現した異色のイベントで、毎月第1日曜日の定期開催として観光客誘致にも生かす考えだ。同寺の氏家栄脩住職も「男女に限らず、人と人の縁が大切。気軽に足を運んでほしい」と呼び掛けている。

初回は大型連休中の2日午前10時から開催。会場は同寺の観音堂で、氏家住職ら3人の僧侶が経を唱えて30分間祈願する。その後、氏家住職が縁結びにまつわる法話を説き、最後に参加者が一人ずつ、寺にある「縁福大風鈴」を鳴らす。

参加者にはオリジナルの絵馬をプレゼント。表面に心という字をあしらい、心と心をつなぐリボンが描いてある。願い事を書いて奉納しても、持ち帰ってお守りにしてもよく、使い方は自由だ。

若松寺は飛鳥時代の僧・行基が開山したと伝えられ、2年前に開山1300年を迎えた。「若松観音」の名で知られ、全国から多くの参拝者が訪れる。

祈願祭は、市観光情報センターが「縁結びの若松寺をもっとPRしたい」と寺に持ち掛けたのがきっかけ。センターの担当者は「祈願祭で意気投合した男女が交流を深めてくれればうれしい。毎月続け、名物行事として定着させたい」と話す。

祈願祭に合わせ、天童温泉の旅館「松の湯」は前日泊限定で、祈願祭参加費を組み込んだ「縁結びプラン」を企画。森谷智昭社長は「若い人が来れば、温泉街もにぎわう。相乗効果で誘客につなげたい」と話す。

ほかの旅館や飲食店でも、祈願祭と組み合わせた特別プランやメニューを検討中だという。

祈願祭の参加費は1000円。予約不要。連絡先は市観光情報センター023(653)1680。

縁むすび祈願祭が行われる若松寺。良縁を望む多くの参拝者でにぎわう